

『地域の宝』の磨き上げ事業(仮称)について

1 政策目的

○平成17年度～(これまでの10年間)

【新市一体感の醸成】

相互理解、交流・連携を深めることで新市としての想いが一つになる。



○平成27年度～(これからの10年間)

【「誇り」と「自信」の醸成】

各地域の個性により磨きをかけることが「誇り」と「自信」につながり、各地域の個性(宝)が調和することで全市の宝となる。

2 『地域の宝』の定義

- ・地域の大半の人が自分たちの宝と認識している
- ・大切にしている組織(住民・NPO等)が存在している
- ・未来を担う子どもたちが参加できる
- ・全地域的な活動が期待できる
- ・地域が一つになれる



4 事業計画期間

5～10年間(地域住民の継続的な取り組みを支援)

⇒次期総合計画における地域づくり戦略の中核的な事業

3 事業化のイメージ

◎『地域の宝』活用策

- ①次代を担う子どもたちへの継承(熱中！感動！夢づくり教育との連携)
- ②首都圏等への積極的なアピール(越後長岡ふるさと会の活用)

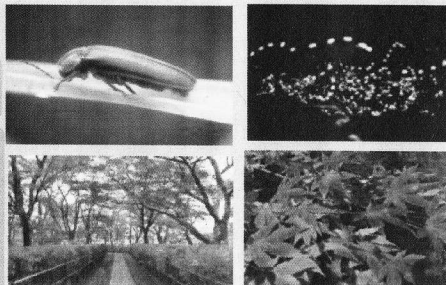
◎具体的事例(案)

【越路】

地域の宝⇒ ●ホタル、もみじ園

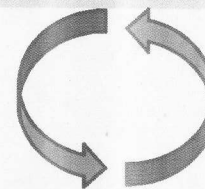
事業化⇒

- 環境保護教育
- 生育環境保全活動
- ボランティアスタッフの育成
- 観賞イベントの実施
- 散策道・休憩所の整備



5 検討の手法

①地域委員会における議論を通して、「地域の宝」を磨き上げ



②事業主体となりうる「地域住民組織」等との調整